

警 防
救 急



現有車両の諸性能

(平成20年3月31日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	購入年月日	備考
1号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 U-FD3HGAA 改	日本機械 R-3	A2	有	H 4. 2.28	水 2,000ℓ (Ⅱ型)
2号車	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	"	H14. 1.25	(CD-Ⅰ型)
3号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 U-FD3HGAA 改	日本機械 V-3000	A1	"	H 2.11.19	出光興産から300万円寄贈 水 1,500ℓ (Ⅰ-B型)
4号車	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE568B 改	モリタ ME-5	A2	"	H10.10.30	(CD-Ⅰ型)
5号車	広報車	スバル E-BG5 改			"	H 6. 7.21	4WD
6号車	指揮車	ニッサン GF-PC24			"	H12. 2.24	
7号車	化学消防ポンプ自動車	日野 KC-FD1JGBA	日本機械 R-3	A2	"	H 9.10.28	水 1,300ℓ 薬 500ℓ (Ⅱ型)
8号車	調査車	トヨタ GB-RZH112V			"	H 9. 6.25	
9号車	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ V-S110P 改	トーハツ V66BM	B2	"	H 8.11.27	4WD
10号車	救助工作車	日野 KK-GD1JGDA 改			"	H12. 8.18	(Ⅱ型)
11号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 KK-FD1JGDA 改	モリタ ME-5	A2	"	H14.12.16	水 1,500ℓ (Ⅰ-A型)
12号車	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	"	H18.12.13	災害対応型 4WD 水 1,500ℓ (Ⅰ-A型)
13号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 P-FD172BA 改	吉谷機械 F-13	A1	"	H 1. 9.18	日本損害保険協会から寄贈 水 1,500ℓ (Ⅰ-B型)
14号車	はしご付消防ポンプ自動車	日野 U-PR2FNAF			"	H 5. 9.24	福岡県と共同購入 40m級
15号車	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B 改	モリタ ME-3A	A2	"	H 7.12. 6	(CD-Ⅰ型)
31号車	査察車	マツダ E-GV8W			"	H 9. 6.30	
32号車	乗用車	トヨタ E-JZS131			"	H 7, 4.24	
33号車	事務連絡車	トヨタ E-AE100G			"	H 8. 9. 5	
34号車	指令車	トヨタ GF-ST215G			"	H12.10.13	
35号車	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			"	H15, 8.29	
マイクロバス	人員搬送車	トヨタ P+H31			無	S 61. 5.22	
救急1号車	高規格救急自動車	ニッサン GE-FLWGE50 改			有	H14. 1.28	災害対応型 4WD
救急2号車	高規格救急自動車	トヨタ TC-VCH38S			"	H17. 3.29	災害対応型 4WD
救急3号車	高規格救急自動車	ニッサン TC-FPWGE50 改			"	H17.12.13	災害対応型、緊消隊 動態情報システム 4WD
救急4号車	高規格救急自動車	トヨタ GE-VCH38S			"	H11.11.10	災害対応型 4WD
救急5号車	救急自動車	トヨタ T-RZH132S		2B	"	H 3. 3.27	玄洋福岡ライオンズ クラブから寄贈
救急6号車	高規格救急自動車	トヨタ GB-VCH38S			"	H 9.11.19	災害対応型 4WD

いろいろな消防ポンプ自動車

水槽付消防ポンプ自動車 (災害対応型)



1,500ℓの水を積載し、火災現場に直近して消火活動を行うことができます。

化学消防ポンプ自動車



化学車は、主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,300ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車



はしご車は、主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動、警戒活動を行います。(40m級)

高規格救急自動車



この救急車は、心電図伝送装置、自動体外式除細動器(AED)、自動式心臓マッサージ器をはじめとする高度救急医療資機材を積載しています。(災害対応型)

救助工作車



救助工作車は、火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(平成20年3月31日)

区分	本部・署所別							計
	本	部	本	署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	
消防ポンプ自動車			1	1	1			3
水槽付消防ポンプ自動車			2	1	1	1		5
化学消防ポンプ自動車			1					1
はしご付消防ポンプ自動車			1					1
救助工作車			1					1
高規格救急自動車			2	1	1	1		5
救急自動車							1	1
指令車				1				1
指揮車			1					1
小型動力ポンプ付積載車							1	1
乗用車	1							1
査察車	1							1
事務連絡車	1							1
人員搬送車	1							1
広報車	1							1
資機材搬送車			1					1
調査車			1					1
合計	5		11	4	3	2	2	27

いろいろな救助資機材

空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「呼吸保護用器具」は、消防活動に欠かすことのできない重要な機材であり、ほかに酸素呼吸器などがあります。

大型油圧式救助器具



大型油圧式救助器具は、油圧ポンプとラムシリンダーを高圧ホースで接続したもので、ラムシリンダーに各種のアタッチメントを組み合わせて取り付け、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助や破壊工作などに使用されています。

マット型空気ジャッキ



マット型空気ジャッキは、空気ポンプ、圧力調整器、ホース、調整器、バックで構成され、空気圧を利用して重量物の持ち上げ、変形したドアなどの開放に使用されます。

酸素溶断器



従来のガス切断器と異なり、アルミニウム、真ちゅう、ステンレスなどの各種金属や、スラブを素早く溶解切断することが出来る万能型の切断装置です。

救命索発射銃



救命索発射銃は、高所、水面などの孤立した場所へ人命救助用ロープを展張したり、おぼれている人に対して着水後に膨脹浮上する救命用浮環を展張するためのもので、救助用ロープを目的の場所に誘導する救命索のついた発射体を発射する特殊な銃です。

熱画像直視装置



熱画像直視装置は、物体表面から自然放射されている赤外線を画像として、モニター上に表示するもので暗闇や濃い煙の中にとり残された人を発見したり、火元や残り火を確認するものです。

救助資機材の配置状況

(平成20年3月31日現在)

区分	署所別	署所別					合計
		本署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	大島分遣所	
一般救助器具	三連はしご	4	1				5
	救命索発射銃	1					1
重量物排除用器具	可搬ウインチ	3					3
切断用器具	エンジンカッター	2	1			1	4
	ガス溶断機	1					1
	チェーンソー	2	1	1	1	1	6
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	3	1	1	1	1	7
呼吸保護器具	空気呼吸器	21	7	5	3	1	37

重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ	1	1				2
	大型油圧スプレッダー	1	1				2
切断用器具	空気鋸	1	1				2
	大型油圧切断機	1	1				2
破壊用器具	削岩機	2					2
測定用器具	有毒ガス測定器	1					1
	酸素濃度測定器						
	放射線測定器	1					1
呼吸保護用具	送排風機	1					1
検索用器具	熱画像直視装置	1					1
水難救助用器具	潜水用具一式	13					13
	水中テレビカメラ	1					1

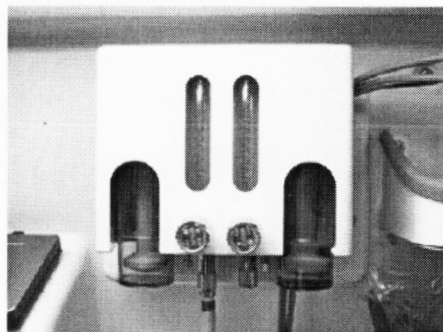
消防水利の現況

(平成20年3月31日現在)

水利区分 市別	消火栓	防火水槽				合計
		小計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	
宗像市	352	261	24	121	116	613
福津市	249	163	9	154		412
計	601	424	33	275	116	1,025

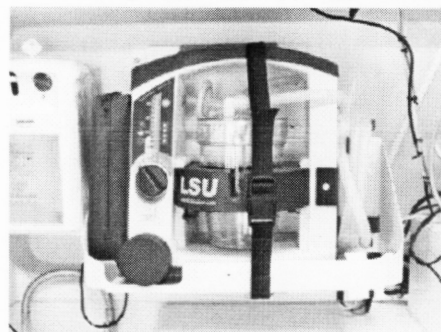
いろいろな救急資機材

酸素吸入器



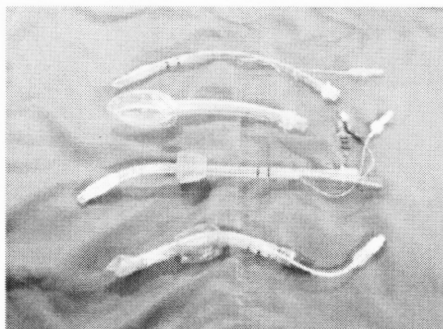
低酸素状態の傷病者等に対して酸素を与えることができます。

電動吸引器



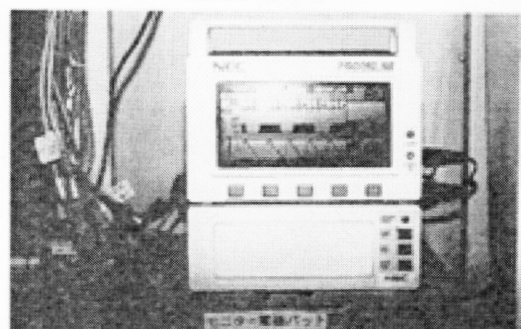
傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液など吸引することができます。

気道確保器具



救急救命士が、心肺停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確保することができます。

監視モニター



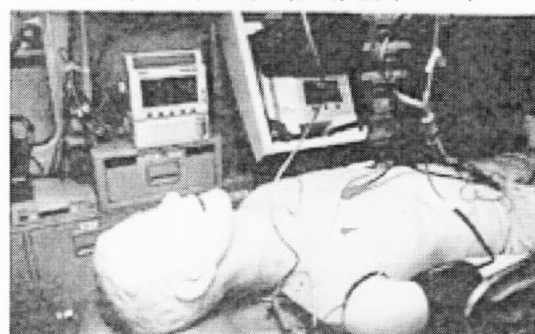
傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

頸椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心肺停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

救急資機材の配置状況

(平成20年3月31日現在)

区分	署所別						合計
	本署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	大島分遣所		
ファーストエイドキット	2	1	1	1	1		6
手動式人工呼吸器	2	1	1	1	1		6
人工呼吸器	2	1	1	1			5
マジックギブス	2	1	1	1	1		6
インハレーター	1	1	1	1			4
酸素呼吸器一式	2	1	1	1	1		6
はさみ(レスキューシーザー)	2	1	1	1	1		6
喉頭鏡・マギル鉗子	2	1	1	1	1		6
応急処置用冷却材(バーンセット)	1	1	1	1			4
自動式心マッサージ器	1	1	1	1			3
脊椎固定具(ファーノケット)	2	1	1	1			5
頭部固定具(ヘッドイモビライザー)	2	1	1	1			5
電動吸引器一式	2	1	1	1	1		6
ドアオープナー	2	1	1	1	1		6
聴診器	2	1	1	1	1		6
ウインドポンチ	2	1	1	1			5
ボルトクリッパー	2	1	1	1			5
監視モニター	2	1	1	1			5
ショックパンツ	1	1	1	1			4
血圧計(携帯用アネロイド)	2	1	1	1	1		6
在宅療法資機材標準セット	2	1	1	1			5
レスキューセット	2	1	1	1			5
輸液ポンプ	2	1	1	1			5
救急伝送システム	1	1	1	1			4
AED(自動体外式徐細動器)	2	1	1	1			5
バックボード一式	2	1	1	1			5
携帯用酸素飽和度測定器	2	1	1	1			5
スクープストレッチャー	2	1	1	1	1		6
カーディオポンプ	1	1	1	1			4

平成19年中の火災概況

1 出火件数

平成19年中の出火件数は77件であり、前年に比べ1件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、建物火災45件で最も多く、出火件数の58.4%を占め、林野火災6件（7.8%）、車両火災5件（6.5%）、その他の火災21件（27.3%）となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、建物火災が7件、林野火災が2件増加し、車両火災は同数で、その他の火災が10件減少している。

2 火災の損害・死傷者の状況

平成19年中の建物焼損棟数は63棟で、前年に比べ20棟増加している。焼損床面積については、1,024㎡で、前年に比べ150㎡増加している。また、林野火災における焼損面積は28aで、前年に比べ76a減少している。

平成19年中の火災による損害額は105,015千円で、前年に比べ21,168千円増加している。

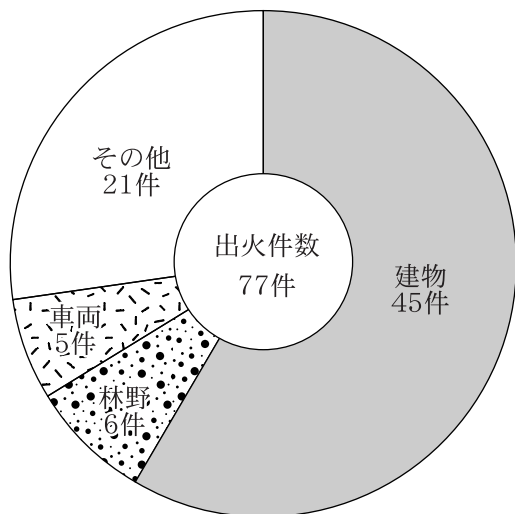
平成19年中の火災による死傷者数は、死者については1人で、前年に比べ1人減少し、負傷者については5人で、前年に比べ4人減少している。

3 出火原因

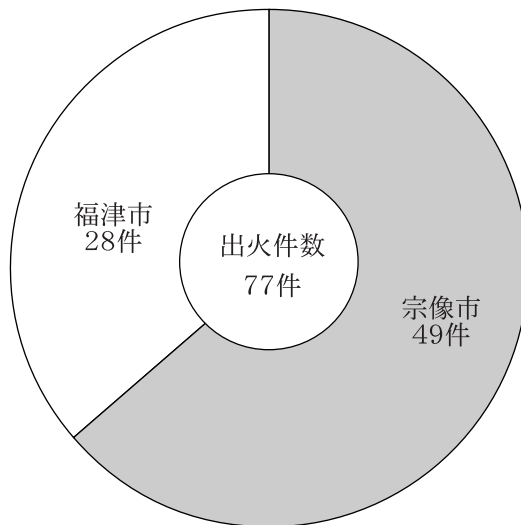
平成19年中の出火件数77件のうち、たき火（20件）、たばこ（7件）、こんろ（7件）が全体の44.2%を占めている。また、放火及び放火の疑いを合わせると9件であり、全体の11.7%を占めている。

たき火が原因による火災は前年の14件から6件増加し、放火(放火の疑い含む)が原因による火災は前年の19件から10件減少している。

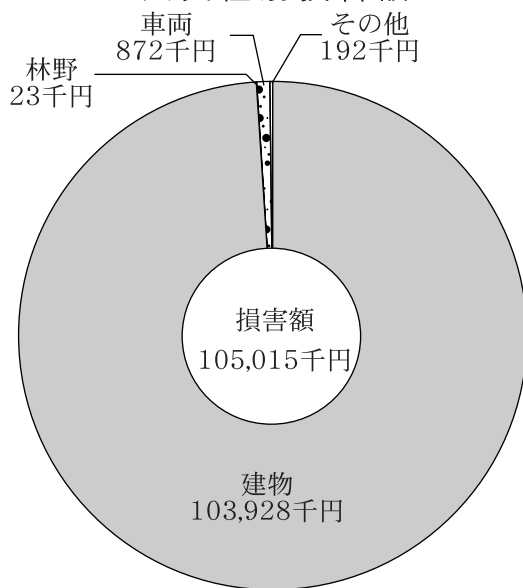
火災種別件数



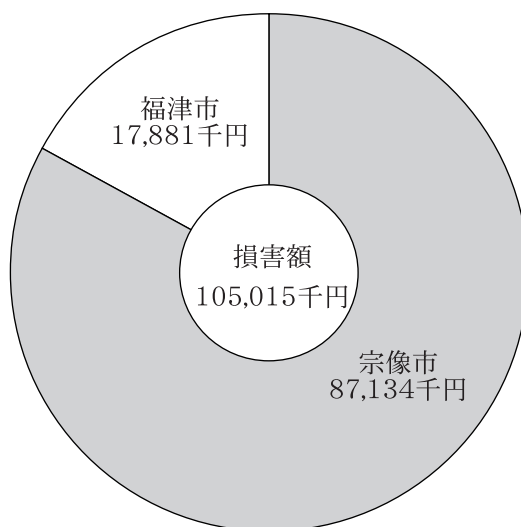
市別出火件数



火災種別損害額



市別損害額



月別出火件数および損害状況

(平成19年中)

区 分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 火 件 数	建 物	2	1	3	7	3	4	2	3	4	4	4	8	45
	林 野		1	1		1					1		2	6
	車 両		2				2				1			5
	船 舶													
	航 空 機													
	そ の 他		1	4	2	1	3		1	1	3	4	1	21
	小 計	2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77
焼 損 棟 数	全 焼	1		1			3	3		2	1	1	1	13
	半 焼	1							1		1			3
	部 分 焼	2	1	1	2	2	3	1	2	1		3	4	22
	ぼ や		1	3	5	1	4		1	1	3	2	4	25
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	319		40		43	92	33	93	124	135	25	120	1,024
	表 面 積	16	9	33	6	43	13	2	11	40	21	91	31	316
	林 野 (a)			2		1							25	28
死 傷 者 数	死 者									1				1
	負 傷 者			1	1	1		1	1					5
損 害 額 (千 円)	建 物	49,143	1	676	185	6,558	1,322	837	8,011	19,797	1,369	1,558	14,471	103,928
	林 野												23	23
	車 両		230			80	352			150			60	872
	船 舶													
	航 空 機													
	そ の 他			1	1					115		5	70	192
	小 計	49,143	231	677	186	6,638	1,674	837	8,011	20,062	1,369	1,563	14,624	105,015
り 災 世 帯 数	全 損	1				1		1	2	1			1	7
	半 損	1											1	2
	小 損			4	3	18	1	1	2		2	2	4	37
り 災 人 員	6		13	10	19	2	7	14	1	5	7	35	119	

宗像市内の火災概要

(平成19年中)

区分		月別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出火事件数	建物	1		2	6	3	4	1	2	4	2		5	30	
	林野			1		1							1	3	
	車両		2				1							3	
	船舶														
	航空機														
	その他		1	2	2		3		1	1	2	1		13	
	小計	1	3	5	8	4	8	1	3	5	4	1	6	49	
焼損棟数	全焼						3	3		2			1	9	
	半焼	1												1	
	部分焼	2	1		1	2	3		1	1			3	14	
	ぼや			2	5	1	4		1	1	2		2	18	
焼損面積	建物(m ²)	256				43	92	33		124	1		115	664	
	表面積	16	9		3	43	13		4	40			9	137	
	林野(a)			2		1								3	
死傷者数	死者									1				1	
	負傷者				1	1		1						3	
損害額(千円)	建物	44,819	1	86	127	6,558	1,322	567	4	19,797	24		13,001	86,306	
	林野														
	車両		230			80	272						60	642	
	船舶														
	航空機														
	その他				1						115			70	186
	小計	44,819	231	86	128	6,638	1,594	567	4	19,912	24		13,131	87,134	
り災世帯数	全損					1		1		1			1	4	
	半損	1												1	
	小損			2	3	18	1		1		1		2	28	
り災人員	5		2	10	19	2	2	2	1	4		23	70		

福津市内の火災概要

(平成19年中)

区分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火事件数	建物		1	1	1	1			1	1		2	4	3	15
	林野			1								1		1	3
	車両							1			1				2
	船舶														
	航空機														
	その他				2		1					1	3	1	8
	小計		1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	4	7	5
焼損棟数	全焼		1		1							1	1		4
	半焼									1		1			2
	部分焼				1	1			1	1			3	1	8
	ぼや			1	1							1	2	2	7
焼損面積	建物(m ²)		63		40					93		134	25	5	360
	表面積				33	3			2	7		21	91	22	179
	林野(a)													25	25
死傷者数	死者														
	負傷者				1					1					2
損害額(千円)	建物		4,324		590	58			270	8,007		1,345	1,558	1,470	17,622
	林野													23	23
	車両							80			150				230
	船舶														
	航空機														
	その他				1									5	6
	小計		4,324		591	58		80	270	8,007	150	1,345	1,563	1,493	17,881
り災世帯数	全損		1							2					3
	半損													1	1
	小損				2				1	1		1	2	2	9
り災人員		1		11				5	12		1	7	12	49	

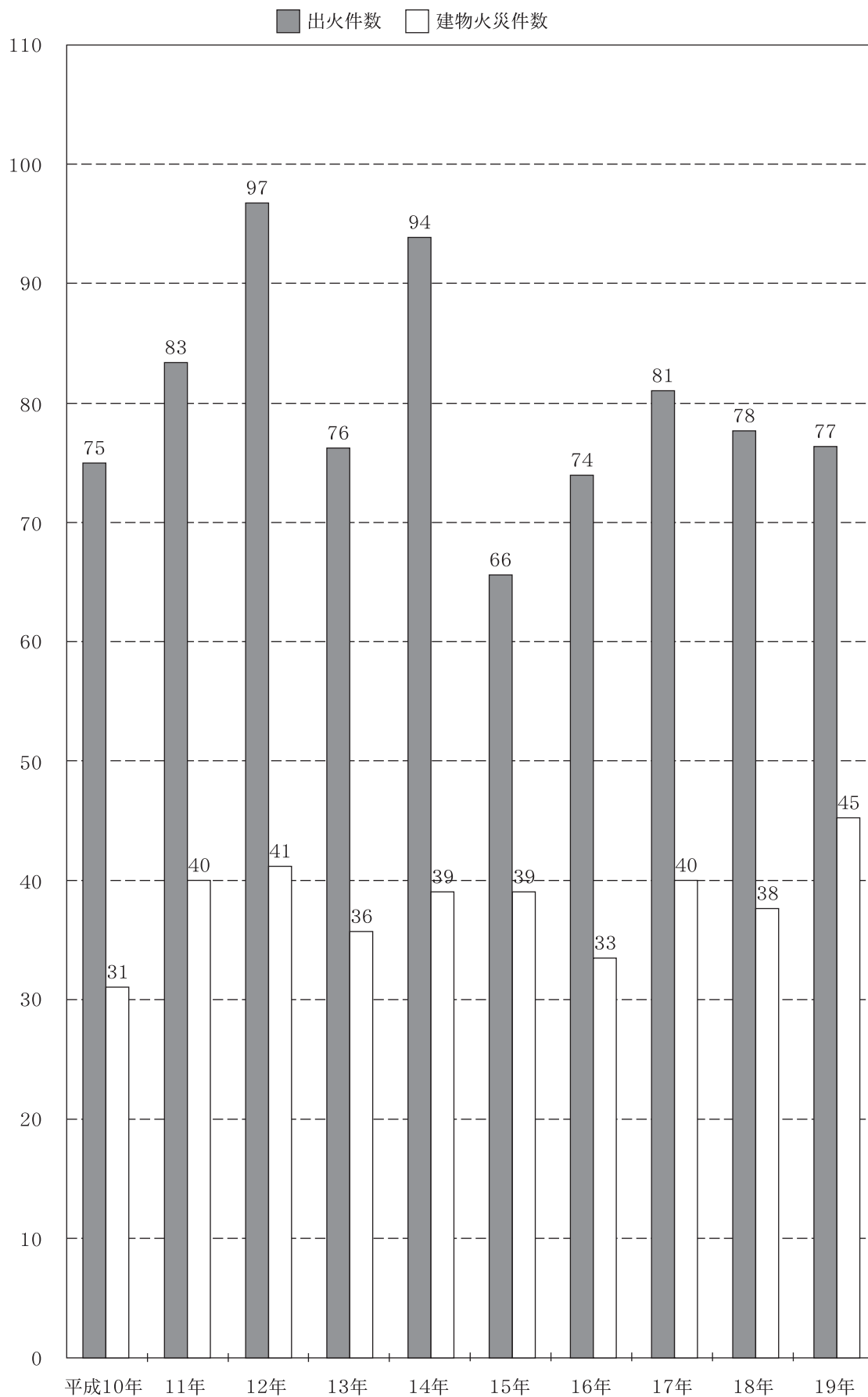
年次別火災発生概要

(過去5年間)

種 別		単位	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年
火 災 件 数	総 件 数	件	77	78	81	74	66
	建 物	〃	45	38	40	33	39
	林 野	〃	6	4	4	9	1
	車 両	〃	5	5	7	8	7
	船 舶	〃				1	
	航 空 機	〃					
	そ の 他	〃	21	31	30	23	19
損 害 額 (千 円)	総 計	千円	105,015	83,847	92,215	181,296	141,860
	建 物	〃	103,928	79,774	89,306	164,487	131,100
	林 野	〃	23				
	車 両	〃	872	2,463	2,067	14,842	3,600
	船 舶	〃				60	40
	航 空 機	〃					
	そ の 他	〃	192	1,610	842	1,907	7,120
建 物 焼 損 面 積	m ²	1,024	874	792	2,190	1,598	
林 野 焼 損 面 積	a	28	104	4	93	2	
焼 損 棟 数	棟	63	43	49	38	52	
死 者	人	1	2	4	3	1	
負 傷 者	〃	5	9	16	12	6	
り 災 人 員 数	〃	119	83	118	74	81	
り 災 世 帯 数	世帯	46	36	40	25	30	
一 日 平 均	発 生 件 数	件	0.21	0.21	0.22	0.20	0.18
	損 害 額	円	287,712	229,717	252,643	496,701	388,658
	建 物 焼 損 面 積	m ²	2.81	2.39	2.17	6.0	4.38
	焼 損 棟 数	棟	0.17	0.12	0.13	0.10	0.14
	り 災 人 員 数	人	0.33	0.23	0.32	0.20	0.22
り 災 世 帯 数	世帯	0.13	0.10	0.11	0.07	0.08	
住 民 1 人 当 たり 損 害 額	円	694	554	610	1,200	941	
1 世 帯 当 たり 損 害 額	〃	1,800	1,457	1,633	3,267	2,594	
人 口 (12 月 31 日 現 在)	人	151,296	151,406	151,260	151,068	150,758	
世 帯 数 (〃)	世帯	58,346	57,556	56,482	55,489	54,689	
出 火 率	件	5.08	5.15	5.36	4.90	4.38	

※ 出火率は、人口1万人当たりの出火件数(人口は12月31日現在の住基人口)

過去10年間の出火件数の推移



原因別出火件数

(平成19年中)

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ						1				2	2	2	7
こんろ			1	2	2			1		1			7
かまど											1		1
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ												1	1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道												1	1
排気管						1			1				2
電気機器	1											1	2
電気装置													
電灯・電話等の配線		1											1
内燃機関													
配線器具				1			1				1		3
火遊び				3									3
マッチ・ライター													
たき火		3	3	1	2	3		1	1	2	3	1	20
溶接機・切断機			1										1
灯火													
衝突の火花													
取灰													
火入れ								1					1
放火		1				2						2	5
放火の疑い				1					2		1		4
その他			1	1		1	1		1	2		1	8
不明	1		2		1	1		1	1	1		2	10
合計	2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77

建物用途別火災発生状況

(平成19年中)

用途別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住宅	1		1	1			2	2	2	2	1	4	16
共同住宅			2	2	2	2						1	9
遊技場										1			1
飲食店				1					1				2
店舗											1		1
学校				2								1	3
神社・寺院									1				1
工場	1												1
駐車場											1		1
倉庫						2		1		1	1		5
事務所												1	1
複合用途(特定)		1		1	1								3
その他												1	1
合計	2	1	3	7	3	4	2	3	4	4	4	8	45

覚知別火災発生状況

(平成19年中)

覚知別	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)				1	1	1			1	1			5
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)	2	1	2	3		2	1	4	2	4	2	3	26
火災報知専用電話 (携帯電話)		3	5	1	2	3			3	1	4	5	27
加入電話 (固定電話)		1								1			2
加入電話 (携帯電話)						1							1
警察電話													
駆け付け通報													
事後間知			1	4	2	2	1			1	2	3	16
その他													
合 計	2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77

曜日別火災発生状況

(平成19年中)

内訳 曜日別	出 火 件 数							死 傷 者		焼 損 面 積			損害額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負 傷 者	建 物 (m ²)	表面積 (m ²)	林 野 (a)	
日曜日	12	4	2	1			5			17	120		2,949
月曜日	15	11	1				3			90	11		8,774
火曜日	8	4	1				3		1	136	4	1	19,232
水曜日	13	10					3		1	224	62		15,513
木曜日	14	7	1	2			4	1	1	347	53	2	49,329
金曜日	6	4		1			1			134	20		1,620
土曜日	8	4	1	1			2		2	76	42	25	7,352
不 明	1	1									4		246
合 計	77	45	6	5			21	1	5	1,024	316	28	105,015

時間別火災発生概要

(平成19年中)

内訳 時間別	出 火 件 数							死 傷 者		焼 損 面 積		
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負 傷 者	建物 (m ²)	表面積 (m ²)	林野 (a)
0～1	6	6						1	1	175	49	
1～2	1	1										
2～3	3	2					1			63		
3～4	1	1								73		
4～5	2	2										
5～6	3	3							2	73	33	
6～7	2	1					1			1		
7～8	1	1								13	2	
8～9	3	3							1	119	9	
9～10	5	4	1							256	18	1
10～11	6	3					3			89	6	
11～12	3	1	1	1							9	
12～13	4	1		1			2					
13～14	5	1	1				3					
14～15	6	1	2				3				3	27
15～16	1						1					
16～17	5	4					1		1	134	27	
17～18	2	1		1							40	
18～19	6	2					4			5	21	
19～20	3	1					2					
20～21												
21～22	3	3										
22～23	4	1	1	2						12	89	
23～24	1	1								11	6	
不 明	1	1									4	
合 計	77	45	6	5			21	1	5	1,024	316	28

気象別火災発生状況

(平成19年中)

区分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
天候	晴		1	4	7	7	4	4		4	3	5	6	9	54
	曇		1	1	1	1	1	3	1		3	2	2	1	17
	雨					1		2	1			1		1	6
	雪														
	不明														
	計		2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77
風向	無風状態		1	1				1	1		1	1	3	2	11
	北				1	1		2				1	1	1	7
	北北東				1	1	1				2	1	1		7
	北東							1					1		2
	東北東						1				1	1			3
	東	1	3					1			1	2			8
	東南東				1			1		2	1	1		2	8
	南東						1	1		1					3
	南南東											1			1
	南				1	1									2
	南南西								1						1
	南西				3		1							1	5
	西南西			1		1	1	1						1	5
	西				1	3							2	2	8
	西北西				1	1								1	3
	北西										1				1
	北北西							1						1	2
	不明														
	計		2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77
風速 (m/s)	1未満		1	1				1	1		1	2	3	2	12
	1～2		1		2	5	1	1		1	1		1	3	16
	2～3			1	2	3	1	2		2	1	1	2	4	19
	3～4			3	2		3	2	1	1	2	3		2	19
	4～5				1			3			1	1	2		8
	5～6				1							1			2
	6～7					1									1
	7～8														
	8以上														
		不明													
	計		2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77
湿度 (%)	40未満				1	1									2
	40～50				1	1	3						2	1	8
	50～60				3	4	1	1	3		2	1	1	3	24
	60～70				1	3	1	2		2	1	2		1	13
	70～80				1		2	1			1	2	1	2	10
	80～90	2				1	1	2			2	3	1	1	13
	90～100			1				1	2		1		1	1	7
		不明													
	計		2	5	8	9	5	9	2	4	6	8	8	11	77

月別・市別火災出動状況

(平成19年中)

月 別 市 別	出 火 件 数	出 動 件 数	事 後 調 査 件 数	出 動 車 両			出 動 人 員		
				計	消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団
1 月	2	2		38	15	23	219	63	156
2 月	5	5		19	12	7	67	43	24
3 月	8	7	1	54	28	26	313	99	214
4 月	9	5	4	48	23	25	201	77	124
5 月	5	3	2	29	16	13	150	59	91
6 月	9	7	2	54	33	21	226	124	102
7 月	2	1	1	15	7	8	92	30	62
8 月	4	4		42	18	24	258	66	192
9 月	6	6		50	26	24	316	99	217
10 月	8	7	1	56	26	30	287	97	190
11 月	8	6	2	58	30	28	236	101	135
12 月	11	8	3	95	38	57	605	155	450
合 計	77	61	16	558	272	286	2,970	1,013	1,957
宗 像 市	49	39	10	256	155	101	1,318	598	720
福 津 市	28	22	6	302	117	185	1,652	415	1,237

- (注) 1 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。
2 事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

平成19年中の救急概況

1 救急出場件数の状況

平成19年中における管内の救急業務の状況をみると、救急出場件数は4,891件、搬送件数は4,533件、搬送人員は4,589人、前年に比べ出場件数15件、搬送件数34件、搬送人員56人がそれぞれ減少しました。これは昭和50年の救急業務開始以降初めての減少となります。救急件数が減少した主な原因については、インフルエンザが前年に比べ、平成19年は流行しなかったこと等が考えられます。

救急自動車による出場件数は1日平均13.40件(前年13.44件)となり、約2時間に1件の割合で救急隊が出動し、管内の総人口の約33人に1人が、救急隊により搬送されたこととなります。

一方、救急隊出動時に同一管轄内で救急事案が発生し、救急隊不在時における消防隊による救急出動件数が104件と前年に比べ49件増加しました。地方財政の厳しい事情等により、神湊出張所運用開始の平成2年12月以降、救急隊は4隊のままにとどまっており、現場到着までの所要時間の平均は7.4分(前年7.7分)と、昨年より短縮したとはいえ、これは通信指令システムの高度化によるもので、まだまだ全国平均より遅延している状況です。

2 事故種別ごとの搬送状況

平成19年中の救急搬送人員4,589人を傷病程度別救急搬送人員割合で見ると「軽症」が33.8%と約三分の一を占めています。事故種別構成比で最も大きかったのは、「急病」であり、全体の59.9%を占めています。また、年齢区分割合では、人口構成比の21.5%に過ぎない「高齢者(65歳以上)」が、全搬送人員の51.8%を占めており、「成人(18歳以上65歳未満)」の37.8%を大きく超えた割合となっています。

3 市民による応急手当状況

救急隊が到着するまでの間に、バイスタンダー(救急現場に居合わせた人)による応急手当が実施された傷病者は、救急搬送の対象となった心肺停止症例の119人の71.4%にあたる85件で実施されました。この実施率の高さは、119番通報受信時の口頭指導及びプレ・アライバルコール(現場に向かう救急隊からの口頭指導)の積極的推進と、応急手当普及啓発活動の相乗効果が着実に表れてきたものと考えられます。

宗像地区消防本部では救命率の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進していますが、平成19年中の救命講習の修了者は、3,415人(うち普通救命講習3,224人、上級救命講習191人)でした。平成6年に応急手当普及啓発推進活動を始めてからの総受講者数は41,091人となり、市民の4人に1人が受講したことになります。

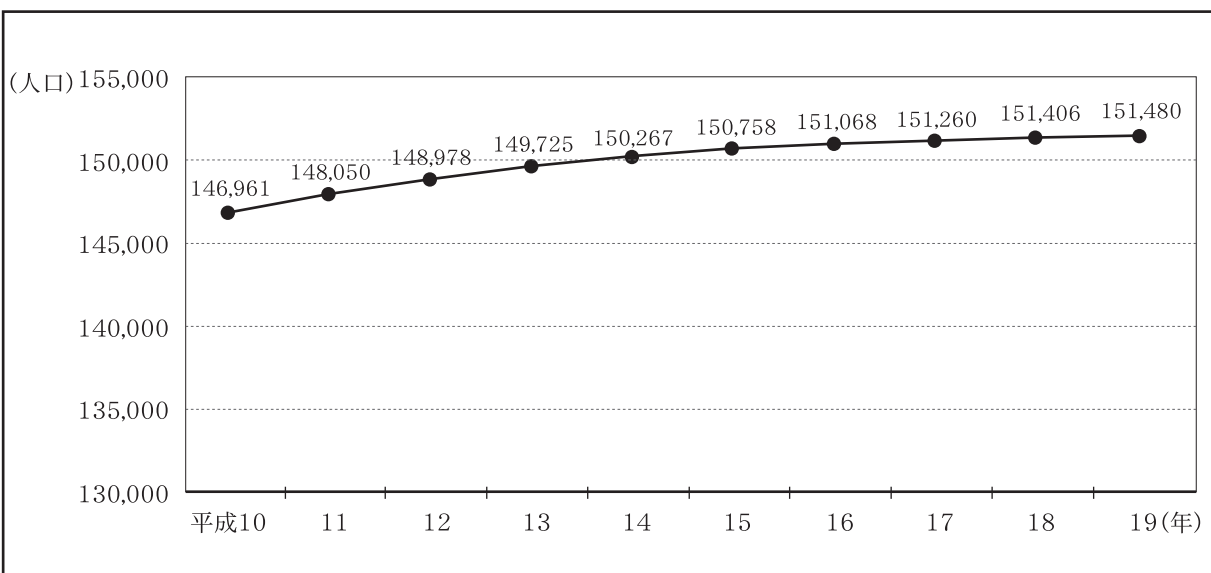
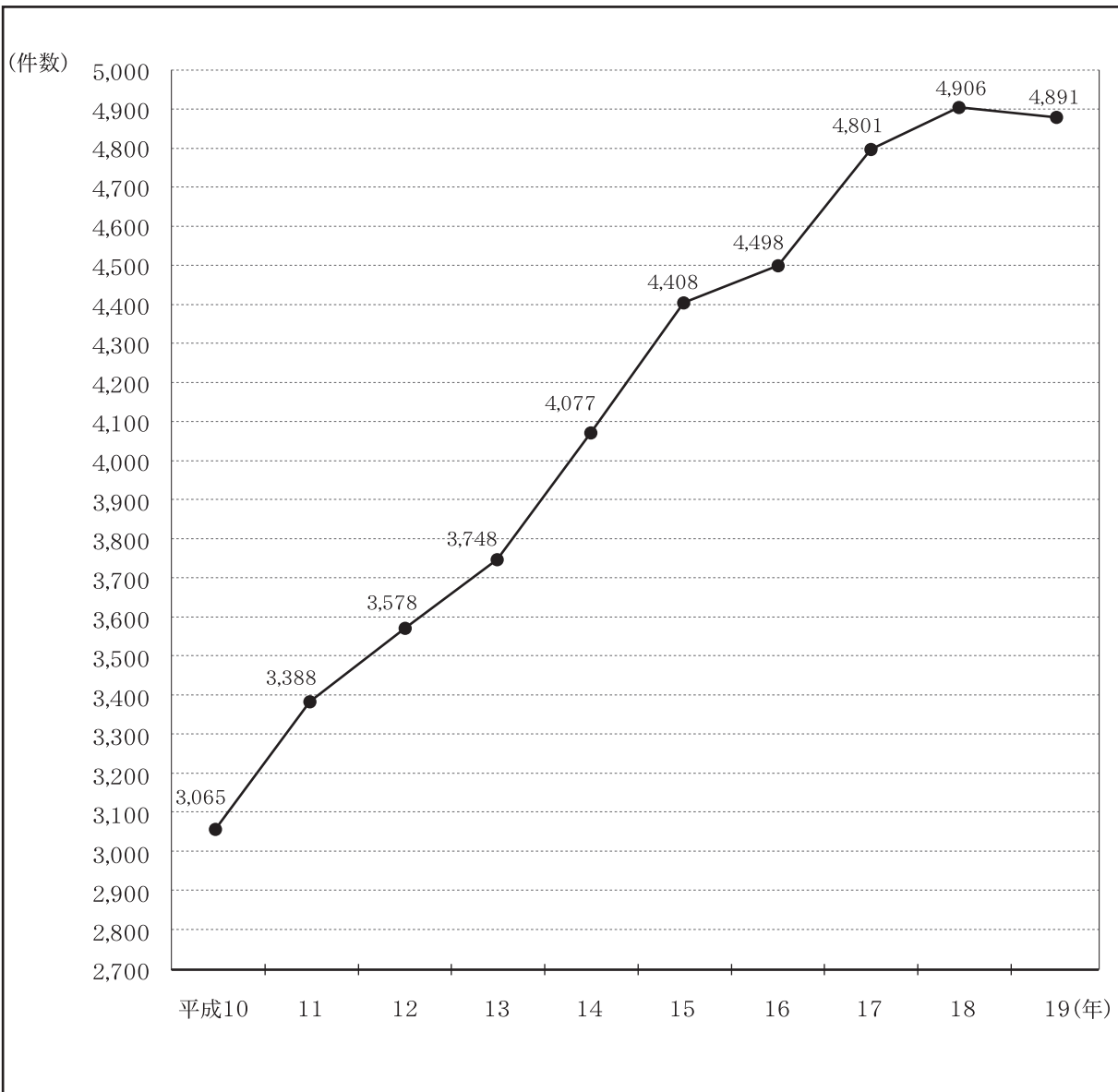
参 考 (下記の受講人数は、平成19年12月31日現在まで)

※普通救命講習Ⅰ・Ⅱ総数……………39,424人

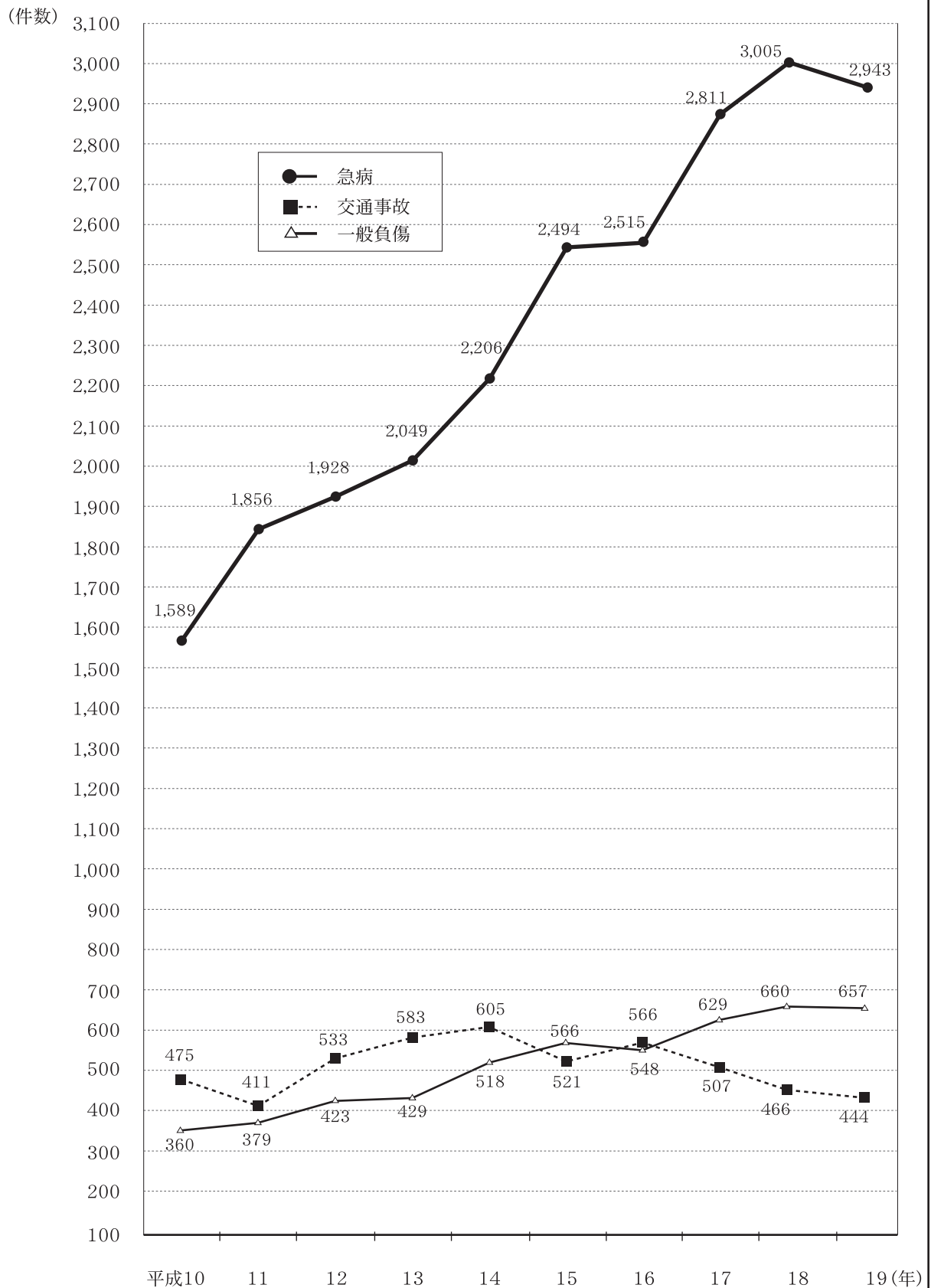
※上級救命講習受講者総数……………1,667人

※上級・普通救命講習受講者総数……………41,091人(管内総人口の約27.1%)

過去10年間の救急出場件数および人口の推移



過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故・一般負傷)の出場状況の推移



管内総括表

(平成19年中)

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資機材	その他		
出 場 件 数	1	2			34	4	3	58		5	247	45			3	401	
	2	1		1	27	2	1	42	2	6	257	52			4	395	
	3	1			37	2	4	56	2	3	259	59			5	428	
	4	2			40	1	4	59	2	5	248	44			8	413	
	5	1		2	45	7	5	52		4	212	61			3	392	
	6	2		1	32	5	3	54	2	5	228	42			9	383	
	7	2		4	44	2	5	63	3	9	244	43	1		5	425	
	8	2		2	38	11	8	56	2	6	269	58			1	453	
	9	3			33	5	5	47	5	5	232	38			2	375	
	10	1			40	1	4	48	3	4	235	51			3	390	
	11	3			39	2	4	55	2	5	241	40			2	393	
	12	3			35	1	5	67	1	7	271	47			6	443	
	合計	23		10	444	43	51	657	24	64	2,943	580	1		51	4,891	
	前年	23	1	4	466	29	50	660	21	59	3,005	544			44	4,906	
	搬 送 件 数	1				30	4	3	54		4	237	45			1	378
2				1	24	1	1	38	1	4	237	51			1	359	36
3					36	2	4	52	2	2	244	59			1	402	26
4					37	1	4	55	2	2	235	44			1	381	32
5		1		1	43	7	5	49		4	198	61				369	23
6				1	31	5	3	50	2	2	211	42			1	348	35
7		1		2	43	2	5	59	2	7	228	43			1	393	32
8				2	34	10	8	50	2	6	250	58				420	33
9		1			30	5	4	45	5	4	211	38				343	32
10					38	1	4	46	3	3	223	51				369	21
11					35	2	3	52	2	4	220	40				358	35
12					31	1	5	65	1	7	255	47			1	413	30
合計		3		7	412	41	49	615	22	49	2,749	579			7	4,533	358
前年	6	1	1	419	29	49	627	19	51	2,810	542			13	4,567	339	
搬 送 人 員	1				35	4	3	54		4	237	45			1	383	
	2			1	27	1	1	38	2	4	237	51			1	363	
	3				40	2	5	52	2	2	244	59			1	407	
	4				43	1	4	55	2	2	235	44			1	387	
	5	1		1	46	7	5	49		4	198	61				372	
	6			1	35	5	3	51	2	2	211	43			1	354	
	7	1		2	48	2	5	59	2	7	228	43			1	398	
	8			2	39	10	9	50	2	6	250	58				426	
	9	1			36	5	4	45	5	4	211	38				349	
	10				40	1	4	48	3	3	223	51				373	
	11				37	2	3	52	2	4	220	40				360	
	12				34	1	5	66	1	7	255	47			1	417	
	合計	3		7	460	41	51	619	23	49	2,749	580			7	4,589	
前年	7	1	1	483	29	53	635	19	51	2,811	542			13	4,645		

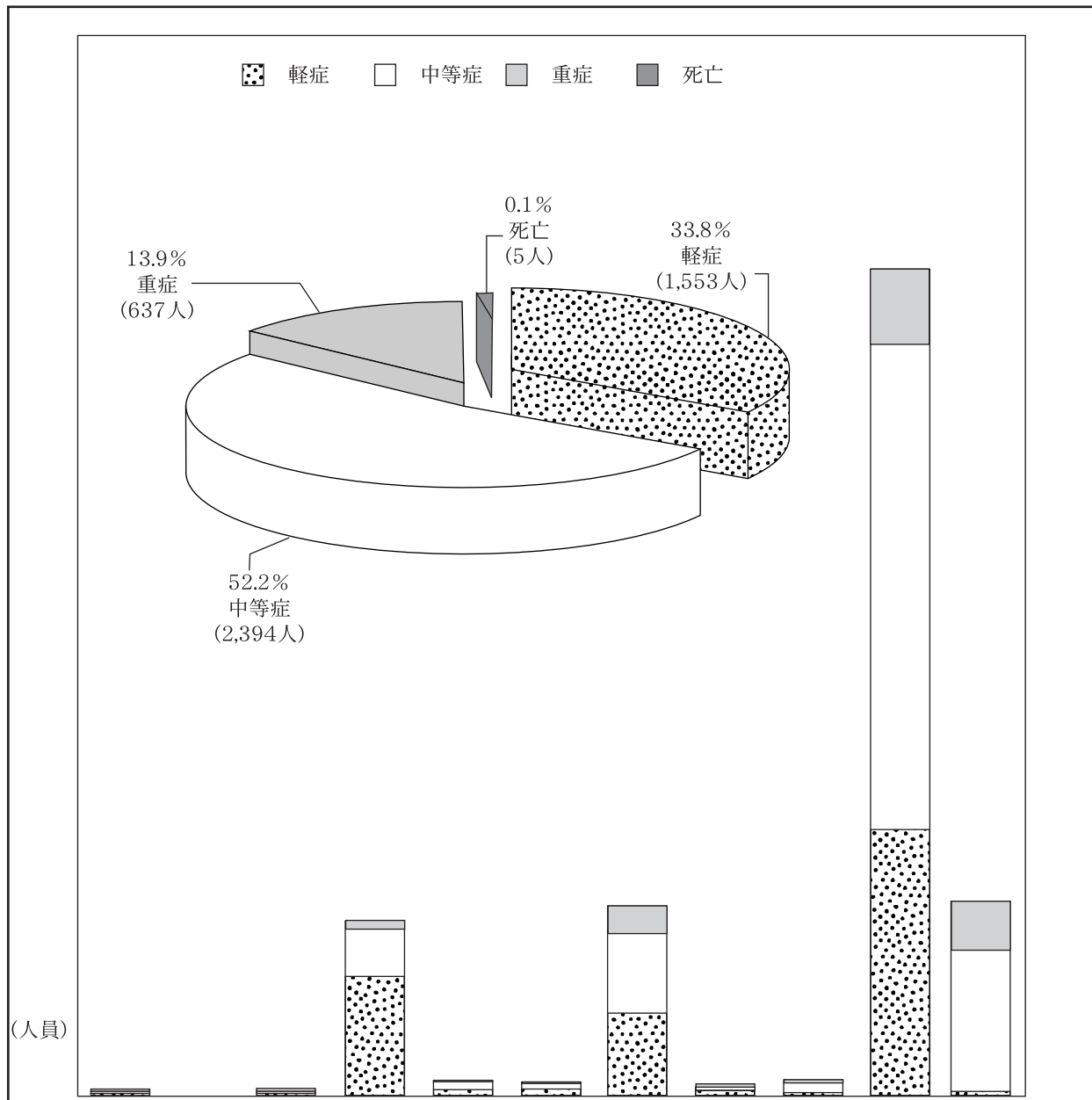
市別総括表

(平成19年中)

市別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資機材	その他		
出 場 件 数	宗 像 市	15		7	287	25	38	408	15	40	1,873	396			33	3,137	
	福 津 市	8		2	156	18	13	248	9	24	1,070	184	1		18	1,751	
	管 外			1	1			1								3	
	合 計	23		10	444	43	51	657	24	64	2,943	580	1		51	4,891	
搬 送 件 数	宗 像 市	3		5	269	24	38	382	13	29	1,743	395			5	2,906	231
	福 津 市			2	142	17	11	232	9	20	1,006	184			2	1,625	126
	管 外				1			1							2	1	
	合 計	3		7	412	41	49	615	22	49	2,749	579			7	4,533	358
搬 送 人 員	宗 像 市	3		5	296	24	39	383	14	29	1,743	396			5	2,937	
	福 津 市			2	163	17	12	235	9	20	1,006	184			2	1,650	
	管 外				1			1							2		
	合 計	3		7	460	41	51	619	23	49	2,749	580			7	4,589	

傷病程度別救急搬送人員

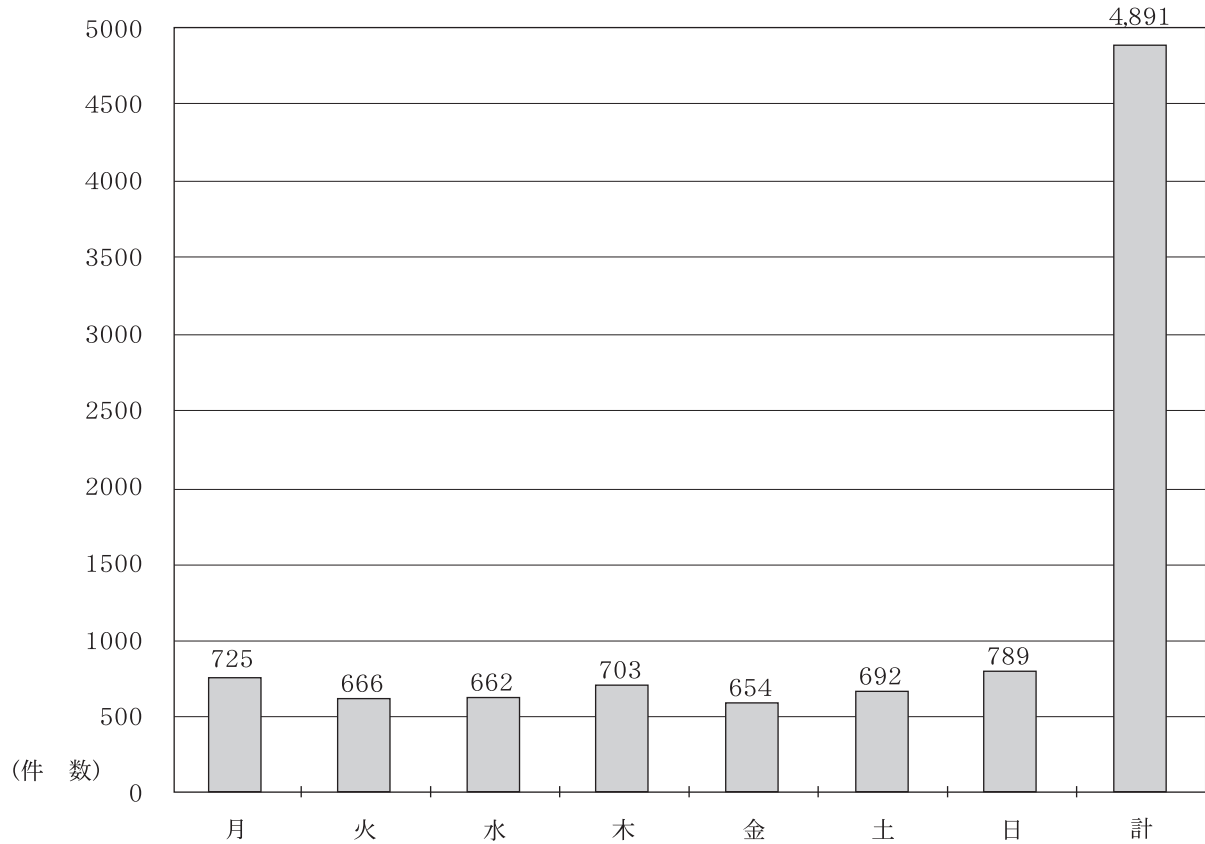
(平成19年中)



事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
合計	3		7	460	41	51	619	23	49	2,749	587	4,589
軽症	1		2	298	20	25	293	15	8	875	16	1,553
中等症	1		1	128	15	22	241	6	22	1,543	415	2,394
重症	1		4	34	6	4	85	2	17	328	156	637
死亡									2	3		5

曜日別救急出場状況

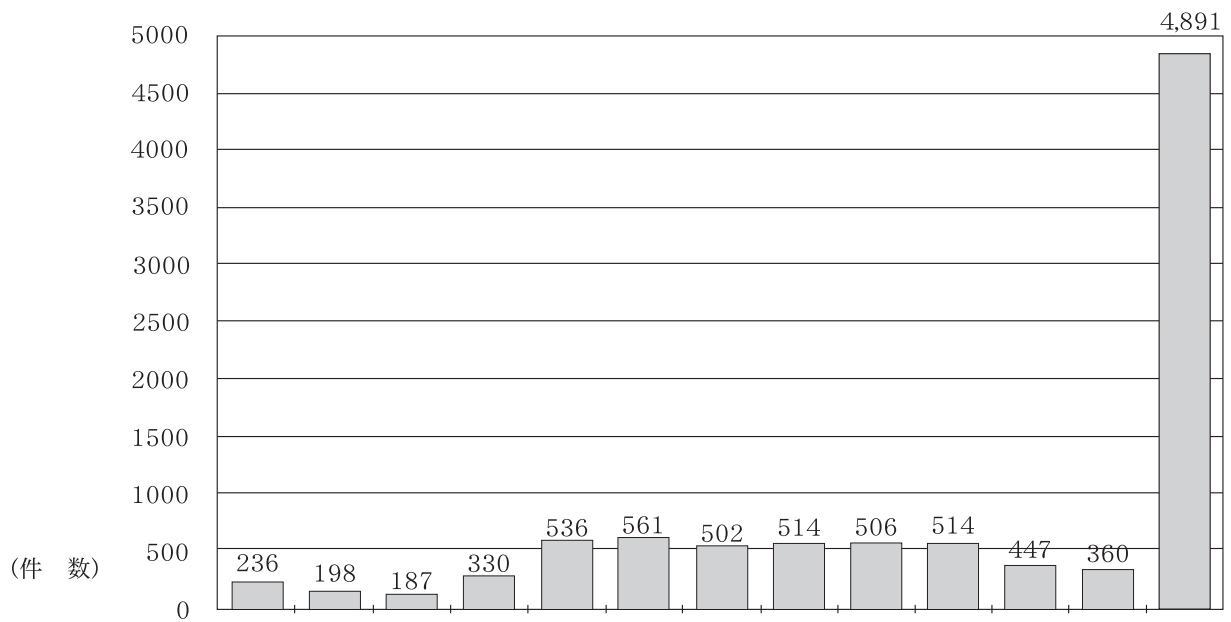
(平成19年中)



曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
事故種別								
合計	725	666	662	703	654	692	789	4,891
火災	2	2	5	6	2	4	2	23
自然災害								
水難	3	1	2				4	10
交通事故	63	62	56	63	74	52	74	444
労働災害	1	11	10	10	6	2	3	43
運動競技	3	3	3	3	3	11	25	51
一般負傷	104	86	91	88	85	98	105	657
加害	3	1		3	5	6	6	24
自損行為	12	7	15	11	3	8	8	64
急病	438	389	390	423	385	415	503	2,943
その他	96	104	90	96	91	96	59	632
前年	681	672	655	712	664	776	746	4,906

時間別救急出場状況

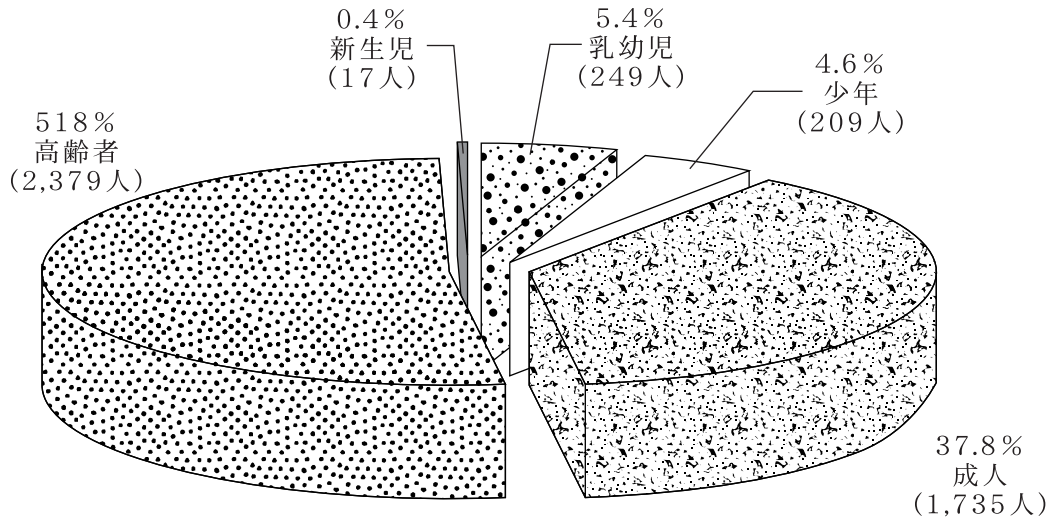
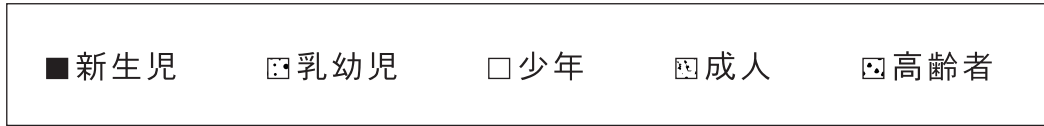
(平成19年中)



事故種別	時間別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	計
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合計		236	198	187	330	536	561	502	514	506	514	447	360	4,891
火災		3	2	2	2	3	3		1	4	1	1	1	23
自然災害														
水難						2	1	2	3	1			1	10
交通事故		16	7	9	19	54	48	54	51	74	55	32	25	444
労働災害		1	1		2	8	12	7	5	7				43
運動競技					2	3	14	9	14	6	1	1	1	51
一般負傷		23	19	15	38	67	76	71	100	67	72	60	49	657
加害		8	4	1	2		1	1		2	1	1	3	24
自損行為		4		6	2	10	6	5	3	11	5	9	3	64
急病		162	142	138	252	325	286	257	254	259	337	298	233	2,943
その他	転院	17	21	10	7	61	109	96	78	69	38	41	33	580
	医師									1				1
	資器材													
	その他	2	2	6	4	3	5		5	5	4	4	11	51
前年		224	196	193	344	599	533	507	496	485	523	465	341	4,906

年齢別救急搬送人員

(平成19年中)



事故種別 年 齡	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
	災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
新 生 児 (生後28日未満)										1	16	17
乳 幼 児 (生後28日以上満7歳未満)			2	17			60			131	39	249
少 年 (7歳以上～18歳未満)				58	1	24	26	2	1	84	13	209
成 人 (18歳以上～65歳未満)	1		3	301	34	27	157	19	41	961	191	1,735
高 齢 者 (65歳以上)	2		2	84	6		376	2	7	1,572	328	2,379
合 計	3		7	460	41	51	619	23	49	2,749	587	4,589

急病にかかる疾病分類別救急搬送人員

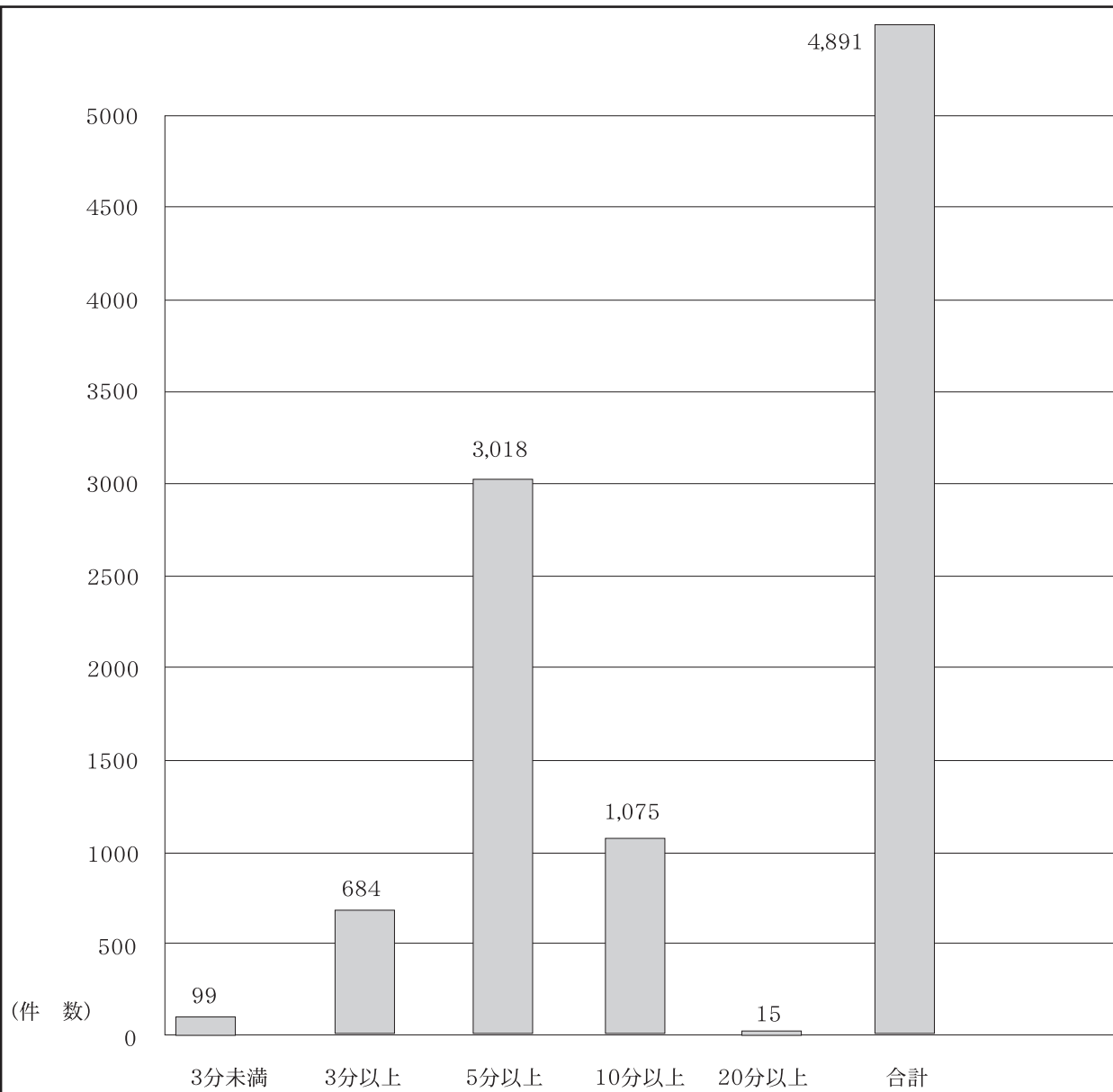
(平成19年中)

年齢区分	疾病分類	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
		脳疾患	心疾患									
新生児	死亡											
	重症											
	中等症										1	1
	軽症											
	小計										1	1
乳幼児	死亡											
	重症											
	中等症	1		1	6		2			4	32	46
	軽症			2	13					12	58	85
	小計	1		3	19		2			16	90	131
少年	死亡											
	重症		3									3
	中等症				4	2	13			4	14	37
	軽症		1	2	6	9	2			13	11	44
	小計		4	2	10	11	15			17	25	84
成人	死亡											
	重症	36	12	8	2	1	2	1	7		9	78
	中等症	65	20	64	32	41	34	27	20	80	122	505
	軽症	10	24	36	16	97	19	12	1	71	92	378
	小計	111	56	108	50	139	55	40	28	151	223	961
高齢者	死亡		1						1		1	3
	重症	79	63	7	36		1	1	13	15	32	247
	中等症	198	134	88	115	4	32	15	22	136	210	954
	軽症	33	44	21	21	27	12	8	4	92	106	368
	小計	310	242	116	172	31	45	24	40	243	349	1,572
計	死亡		1						1		1	3
	重症	115	78	15	38	1	3	2	20	15	41	328
	中等症	264	154	153	157	47	81	42	42	224	379	1,543
	軽症	43	69	61	56	133	33	20	5	188	267	875
合計		422	302	229	251	181	117	64	68	427	688	2,749

(注) 年齢区分のうち「新生児」は生後28日未満、「乳幼児」は生後28日以上満7歳未満、「少年」は7歳以上18歳未満、「成人」は18歳以上65歳未満、「高齢者」は65歳以上を示す。

現場到着所要時間

(平成19年中)

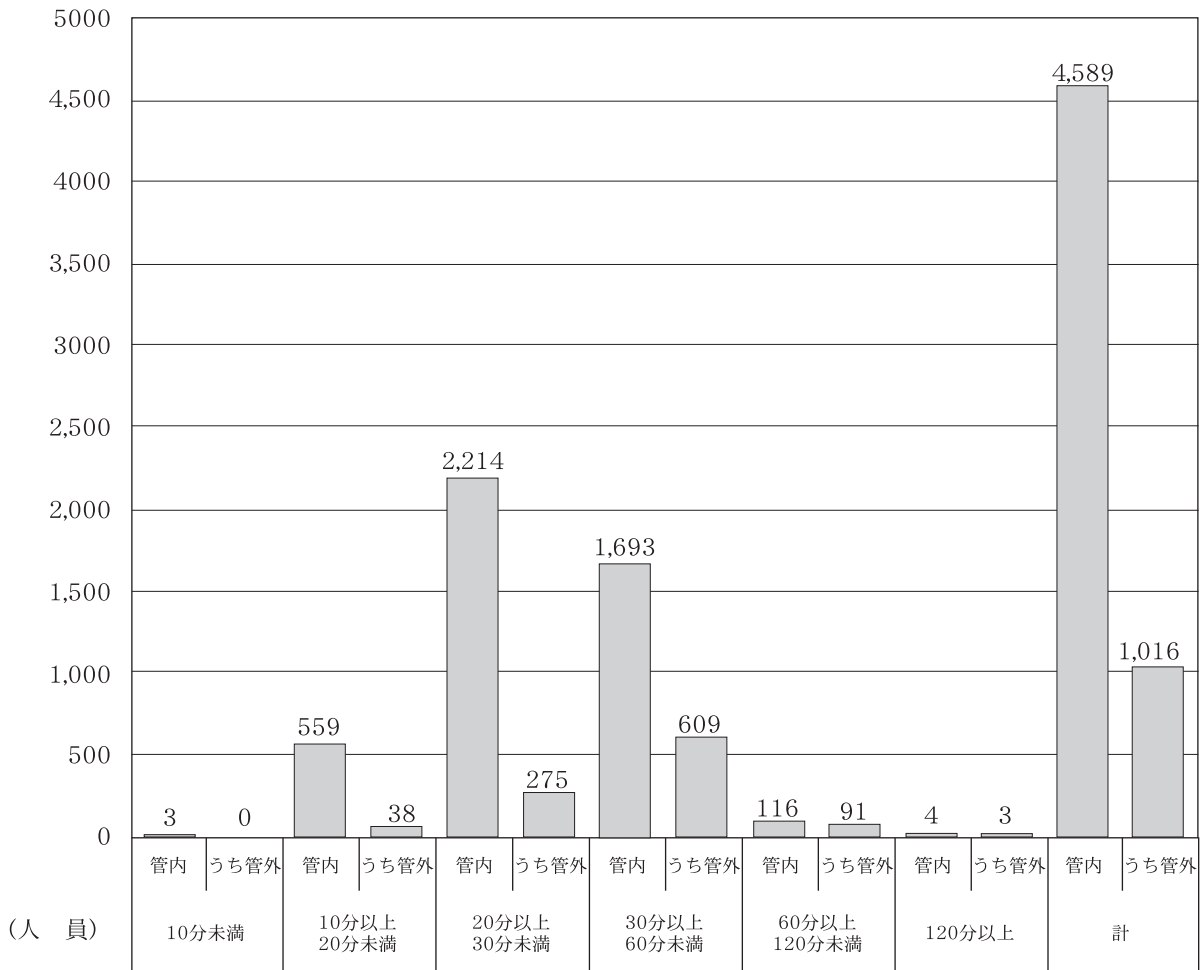


現場到着 所要時間 事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着 平均所要 時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
合計	99	684	3,018	1,075	15	4,891	7.4
急病	34	351	1,905	647	6	2,943	7.5
交通事故	9	56	268	110	1	444	7.8
一般負傷	8	87	413	144	5	657	7.6
その他	48	190	432	174	3	847	6.8

(注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

収容所要時間

(平成19年中)



事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計		収容平均 所要時間 (分)
	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	
合計	3		559	38	2,214	275	1,693	609	116	91	4	3	4,589	1,016	29.6
急病	1		301	21	1,366	155	1,021	305	57	44	3	2	2,749	527	29.4
交通事故			100		245	7	104	17	10	7	1	1	460	32	26.4
一般負傷	1		93	4	298	17	214	38	13	10			619	69	28.7
その他	1		65	13	305	96	354	249	36	30			761	388	33.8

(注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

救急隊員が行った応急処置の状況

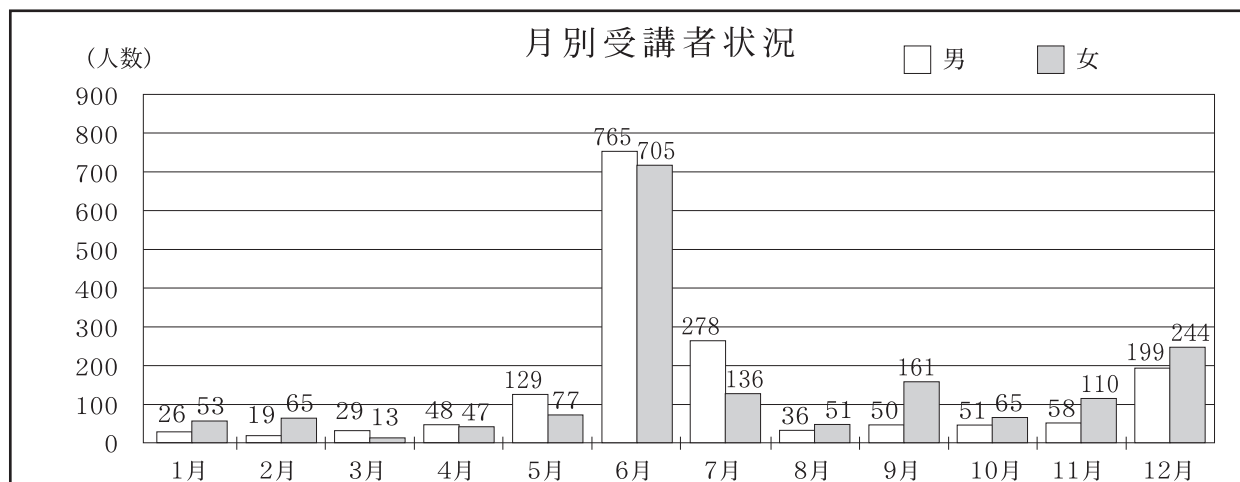
(平成19年中)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置対象人員	2,744	456	617	758	4,575
処置項目					
止血	18	18	50	10	96
固定	109	353	286	106	854
人工呼吸	37	2	3	15	57
酸素吸入	1,614	102	98	428	2,242
保温	1,386	178	261	365	2,190
被覆	21	72	153	33	279
心肺蘇生	83	4	9	23	119
うち自動式心マッサージ器使用					
在宅療法	19		1		20
ショックパンツ					
血圧測定	2,572	433	557	693	4,255
心音・呼吸音聴取	2,366	379	422	626	3,793
血中酸素飽和度測定	2,659	448	589	723	4,419
心電図測定	2,328	211	310	587	3,436
気道確保	189	6	14	50	259
うち経鼻エアウェイを使用しての気道確保	4			1	5
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去	1				1
うちラリンゲルマスク等を使用しての気道確保	47	1	3	7	58
うち気管挿管を使用しての気道確保	1			4	5
除細動	25		2	3	30
静脈路確保	38		6	13	57
薬剤投与	2			1	3
その他	2,333	349	505	630	3,817

(注) 1 1名につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

応急手当普及啓発活動状況



月別	普通救命講習 I・II						上級救命講習						合計	
	受講者数						受講者数							
	男	再講習	女	再講習	合計 (男・女) (再講習)		男	再講習	女	再講習	合計 (男・女) (再講習)		普通・上級	再講習
1月	24		31	9	55	9	2		22		24		79	9
2月	19	3	65	17	84	20							84	20
3月	29	5	13		42	5							42	5
4月	31	6	22	3	53	9	17		25	2	42	2	95	11
5月	129	12	77	14	206	26							206	26
6月	765	7	705	3	1,470	10							1,470	10
7月	262	44	132	42	394	86	16		4		20		414	86
8月	36	18	51	32	87	50							87	50
9月	50	5	161	75	211	80							211	80
10月	51	2	65	11	116	13							116	13
11月	45	14	60	7	105	21	13	2	50	4	63	6	168	27
12月	198	1	203	15	401	16	1		41		42		443	16
小計	1,639	117	1,585	228	3,224	345	49	2	142	6	191	8	3,415	353
合計	3,224(345)						191(8)						3,415(353)	
累計	39,424(4,894)						1,667(111)						41,091(5,005)	

※平成19年中の救命講習 受講者総数.....3,415人
 うち上級救命講習 受講者数.....191人
 うち普通救命講習 受講者数.....3,224人

※平成19年12月31日現在の救命講習 受講者総数.....41,091人
 うち上級救命講習 受講者数.....1,667人
 うち普通救命講習 受講者数.....39,424人

平成19年中の救助概況

平成19年中の救助出動件数は73件で、前年に比べ10件増加している。救助活動件数は36件で、前年に比べ8件増加している。

なお、救助人員は37人で、前年に比べ14人増加している。（下表参照）

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
15年	36	▲5.3%	34	▲29.2%
16年	38	5.5%	35	2.9%
17年	25	▲34.2%	29	▲17.1%
18年	28	12.0%	23	▲20.7%
19年	36	28.6%	37	60.9%

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、火災及びその他の事故のそれぞれ22件で全体の30.1%ずつを占めている。次いで交通事故の21件（28.8%）、以下水難の5件（6.9%）、機械による事故の2件（2.7%）、建物等による事故の1件（1.4%）の順となっている。

また、救助活動件数ではその他の事故が最も多く14件で全体の38.9%を占め、次いで交通事故12件（33.3%）、火災及び水難事故が各4件（それぞれ11.1%）、機械による事故及び建物等による事故が各1件（それぞれ2.8%）の順となっている。

救助人員は37人で、救助活動1件当たり1.03人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、交通事故によるものが16人で、昨年と同様最も多く、全体の43.2%を占めている。

管内総括表

(平成19年中)

事故種別 区分	火	交	水	風自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	合	前
	災	通	難	水然	械よ	物る	ス欠	裂	の事		
	災	故	故	害災	に故	に故	及び故	事	他故	計	年
出動件数(件)	22	21	5		2	1			22	73	63
活動件数(件)	4	12	4		2				14	36	28
救助人員(人)	1	16	4		2				14	37	29
活動人員(人)	24	131	42		29				140	366	281
活動車輛台数(台)	8	38	13		10				39	108	82

主な救助活動

発生日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
1月19日	宗像市	交通事故	国道3号線における軽トラックの単独事故。フロント部分を電柱に衝突させ、下半身が座席及びフロントパネル部に挟まれた状態であった。フロントガラス及び運転席ドアを取り除き、車両フロント部と電柱を固定。さらに、事故車両後部デフを救助工作車のフロントウィンチで牽引し、運転席の間隙を広げ救出。	15	4	15	4	1
7月3日	福津市	機械の事故	油圧シャーリングマシンによる作業中、男性1名が誤って左手を差し込んでしまい、抜けなくなったもの。スプレッダー、テレスコピック・ラム及びマット型空気ジャッキを使用するも開放できず。最終的に人力で機械のボルトを外すなどの活動後、救出した。なお、出動途上、ドクターヘリを要請し、現場でドクター及び看護師による処置が実施された。	16	6	16	6	1
10月28日	宗像市	機械の事故	コンバイン清掃中に、カッターにわらを運ぶためのチェーンとプーリーの間に左手環指を挟まれたもの。プーリーを固定しているボルトを緩め救出を試みるが、有効な開口部を得ることができなかったため、レスキューカッターにてチェーンを切断し救出した。	13	4	13	4	1
12月7日	宗像市	交通事故	国道3号線において発生したトラック3台による衝突事故で、4トンダンプと大型トラックの運転手それぞれが車内に閉じ込められたもの。4トンダンプの運転手は右足をフロントパネルと座席の間に、胸部をハンドルと座席背もたれに挟まれていた。救助工作車のフロントウィンチとスプレッダーを併用し、挟まれ部分を開放後、救出。大型トラックの運転手については、右足をフロントパネルと座席に挟まれていたため、ハンドルコラムにワイヤーを巻き、救助工作車のフロントウィンチを使用し、救出した。	16	5	16	5	2

市別救助出動件数

(平成19年中)

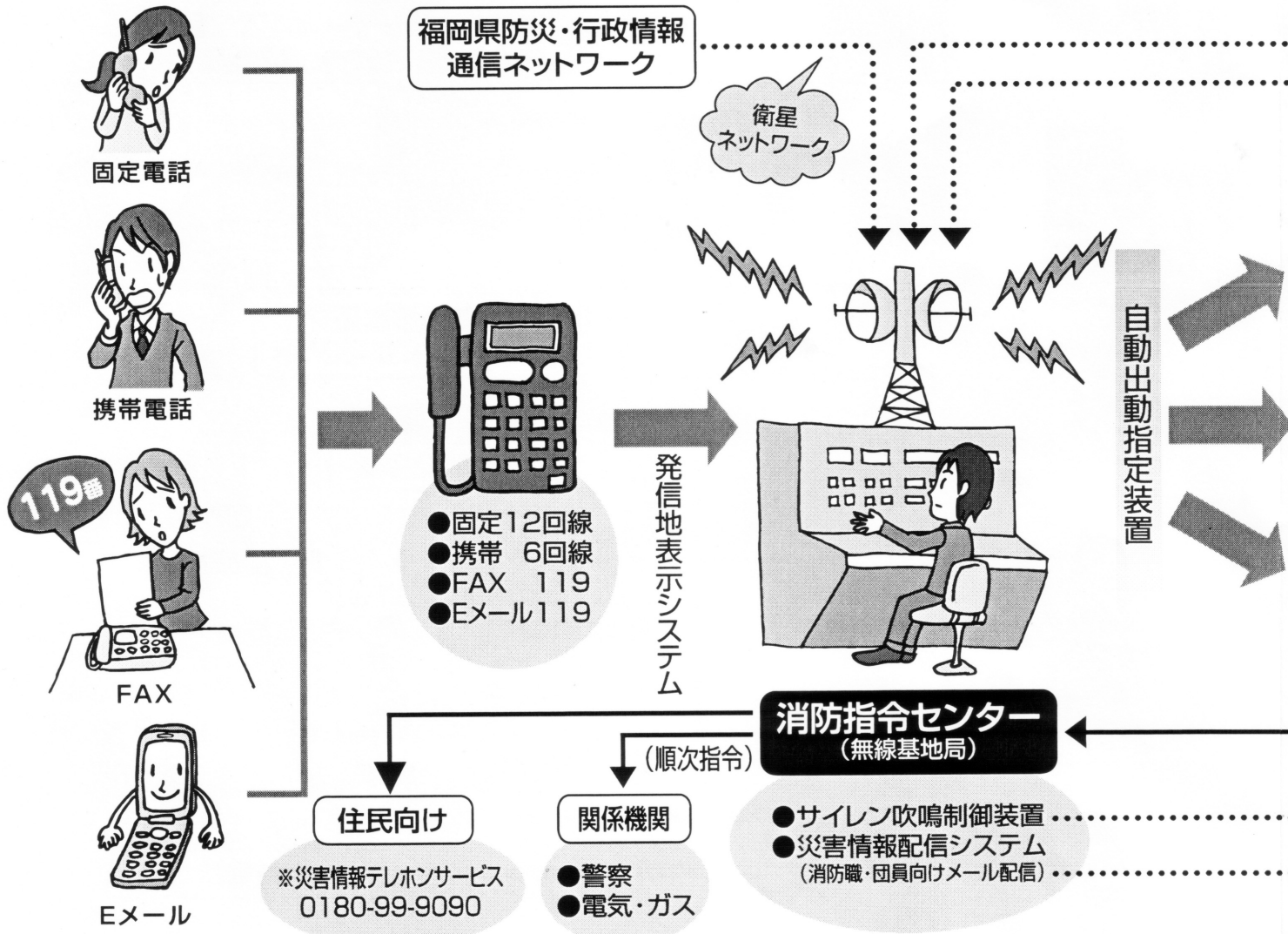
事故種別		火災	交通事故	水難事故	風自然水害等	機よる械事に故	建よる物る等に故	ガ酸ス欠及事び故	破裂事故	その他の事故	計
出 場 件 数	宗 像 市	13	18	2		1				13	47
	福 津 市	9	3	2		1	1			9	25
	管 外			1							1
	合 計	22	21	5		2	1			22	73
事故種別		火災	交通事故	水難事故	風自然水害等	機よる械事に故	建よる物る等に故	ガ酸ス欠及事び故	破裂事故	その他の事故	計
活 動 件 数	宗 像 市	2	11	2		1				9	25
	福 津 市	2	1	2		1				5	11
	管 外										
	合 計	4	12	4		2				14	36
事故種別		火災	交通事故	水難事故	風自然水害等	機よる械事に故	建よる物る等に故	ガ酸ス欠及事び故	破裂事故	その他の事故	計
救 助 人 員	宗 像 市		14	2		1				9	26
	福 津 市	1	2	2		1				5	11
	管 外										
	合 計	1	16	4		2				14	37

月別救助出動状況

(平成19年中)

事故種別 市別	火災	交通事故	水難事故	風自 水然 害災 等害	機よ る 械 事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その の事 他故	計	前 年
合計	22	21	5		2	1			22	73	63
1月	2	2							3	7	2
2月		1							1	2	7
3月	1	1							1	3	5
4月	2	2				1				5	4
5月	1	3	1						2	7	6
6月	3	2	1						3	9	5
7月	1	4	2		1				3	11	7
8月	2	1							3	6	7
9月	3	3							1	7	4
10月	1	1	1		1				3	7	4
11月	3								2	5	6
12月	3	1								4	6

高機能消防通信指令システム



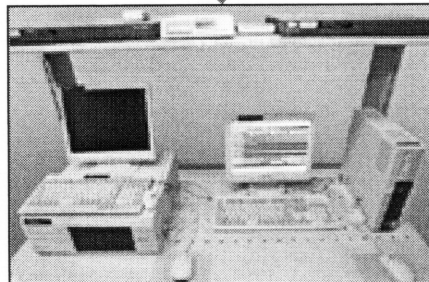
01 通報受付

指令台で119番通報を受け付けるとコンピュータによる処理が開始されます。



02 災害地点・種別決定

発信地表示システムや地図検索装置を使って、災害の発生場所を確認します。また通報内容から災害の種別や規模を決定します。

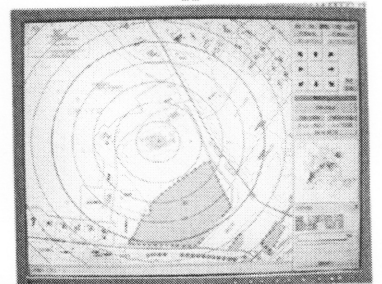


全電話対応発信表示システム

119番通報をした場所が瞬時に表示され、的確な出動指令を出すことができます。一般の電話はもちろんのこと、携帯電話、IP電話からの119番も対応可能です。

03 予告指令

119番通報を受信中であることを自動的に消防署所内にアナウンスし、出動の準備を整えます。



地図検索装置

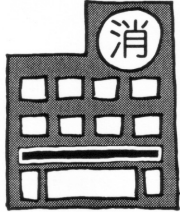
災害発生時に地図を表示し、災害地点の確定に使用します。

NTT ドコモ Dopa

AVM無線データ通信及びGPS
端末装置27台(内、簡易型9台)

消防波 1
県内波 1
救急波 2

防災共通波1局
全国波 3局



本署



福間分署
(無線中継局)



赤間出張所
神湊出張所
大島分遣所

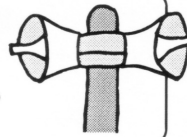
(固定119)

駆け込み
緊急電話

陸上移動局
(車載26台、携帯21台)

消防職員受令機
消防団受令機

構成市消防団
サイレン
※大島は、有線による
オフトーク

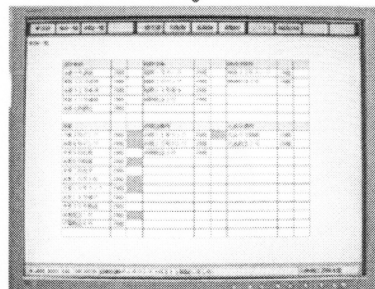


携帯電話



04 車両編成

車両動態位置管理システムを使って災害地点に最も早く到着できる消防車両を選定、消防署所や移動中の車両に出動指令を行います。

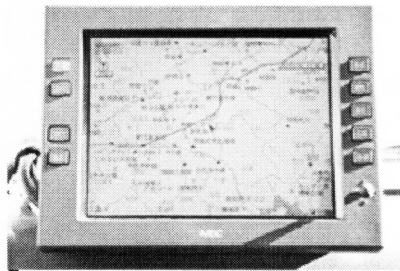


自動出動指定装置

出動時の部隊編成、事案の処理を行います。

05 支援情報

カーナビゲーション装置には災害現場までの地図や建物の状況、道路情報等を表示し、災害現場に向かう消防隊をサポートします。

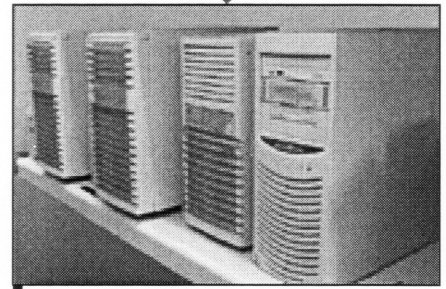


カーナビゲーション

災害現場への誘導を迅速、確実に行います。

06 災害記録

119番通報の内容や災害現場での活動状況を消防署所のOAシステムに入力し、各種の統計等に活用します。



消防OAシステム

災害情報の一元管理、被害状況の分析・報告事務を行います。

音声指令・指令書印刷

119番受信状況

(平成19年中)

区分 月別	火 災		救 急		その他の 災 害		問合せ		まちがい		いたずら		試 験		その他		計	
	携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯	
1 月	4	2	390	65	6	4	85	33	56	27	0	0	93	0	36	19	670	150
2 月	3	3	377	77	8	3	65	28	48	13	3	0	92	3	24	18	620	145
3 月	12	6	408	85	9	6	95	27	71	22	4	0	105	12	33	13	737	171
4 月	5	2	392	93	9	5	86	33	52	12	3	0	55	2	21	7	623	154
5 月	6	3	374	90	14	8	108	20	52	14	2	0	60	1	30	13	646	149
6 月	14	6	356	95	9	5	78	15	51	14	6	1	59	0	38	15	611	151
7 月	1	0	405	85	16	11	94	28	67	19	12	0	52	5	23	14	670	162
8 月	7	5	435	108	4	2	107	40	63	32	4	0	846	768	47	28	1513	983
9 月	4	2	364	81	10	5	102	47	52	16	4	0	97	38	32	13	665	202
10 月	8	3	375	82	9	5	94	35	42	13	4	1	61	12	23	9	616	160
11 月	14	10	396	107	7	4	78	31	43	14	2	0	96	18	39	7	675	191
12 月	14	6	437	95	9	7	117	34	47	10	4	1	53	6	30	17	711	176
合 計	92	48	4,709	1,063	110	65	1,109	371	644	206	48	3	1,669	865	376	173	8,757	2,794